

# カンボジア便り

## かんぼじあ でんとうげいのう カンボジアの伝統芸能

9月、家族がカンボジアに来た際に、初めてカンボジアの伝統芸能である「アプサラダンス」を見てきました。5つの踊りを見たのですが、それぞれストーリーが違って面白かったです。アプサラとは天女のことを意味します。カンボジアの人々に大人気なアプサラについて説明します。

アンコールワットが作られた頃、カンボジアではヒンドゥー教が盛んでした。ヒンドゥー教には神様がたくさんいて、神様にまつわる面白い話が多く残されています。その中の1つに、「乳海攪拌」という人気話があります。不死の薬を手に入れるために、悪い魔王と良い神様たちが協力して牛乳の海を掻き混ぜる、というビックリな内容なのですが、アプサラはその海を掻き混ぜた勢いで生まれてきた天女なのだそうです。生まれてきた天女たちが歌い踊り、応援することで魔王軍と神様たちは更に力を込めて海を掻き混ぜた、と話は続くのですが…詳しくは調べてみてくださいね。



お迎えのダンス



ココナッツダンス



天女のダンス



水晶のダンス

悪い王を水晶の玉で天女が倒す

## みずうみ うえ むら とんれさつぷこ 湖の上の村 ~トンレサップ湖~

こちらにも家族と行ってきました。カンボジアといえば水上の家、と想像する人もいます。トンレサップ湖は雨季と乾季で水の量が全く変わり湖の大きさも変わるそうです。湖の上にある村も、それに合わせて移動するのだとか。船の上で暮らす、というのはとても大変そうですが、

生まれてからずっとそこで暮らしている人にとってはそれが当たり前なんだな、と不思議な気持ちになりました。

ちなみに、トンレサップ湖では昔ワニがいて、そのワニの肉を食べたり、革を売ったりしていたそうです。しかし、獲りすぎてしまい野性ではほとんどいなくなってしまいました。現在は養殖といって、自分たちで育てているのだそうです。

近くで見せてもらってドキドキでした。



たくさんのワニ

## 水の上に浮かぶ学校

ここに住む人たちはボートで移動するそう

